

地方独立行政法人京都市産業技術研究所

平成29年度第4回理事会議事録

1 開催日時

平成30年3月23日（金） 10時15分～11時15分

2 開催場所

京都市産業技術研究所 ホールD

3 理事者

(1) 出席者

西本理事長，森川副理事長，吉田理事，横田理事，早水理事

(2) 欠席者

なし

4 事務局出席者

安藤知恵産業融合センター長，杉浦研究室副室長，相部経営企画課長，菅野企画係長，小笠原総務係長

5 議題

(1) 「平成30年度予算について」

(2) 「組織について」

(3) 「事務分掌規程の改正について」

6 議事の概要及び結果

(1) 議題1 「平成30年度予算について」

事務局から資料に基づき説明した後，以下のとおり質疑応答があり，原案どおり出席者全員一致で可決した。

○ 知恵産業融合センターの予算が減少しているように見える。

⇒ 平成29年度の知恵産業融合センター予算のうち，研究開発・新商品開発予算6,000千円は，実用化に近い研究開発テーマをいわゆる「知恵産業融合センター枠」として予算化していたものであり，平成30年度は研究室の重点的研究予算に統合したため，半減しているように見える。その分を除けば，新規事業も行うことから，予算は確保している。

○ 産技研が知恵産業の推進を強化していることを対外的にきちんと説明できるように準備をしておくことが重要である。

○ 研究開発予算の総額はほぼ前年度と同じであるが，重点的研究予算が大きく減少しているのはなぜか。

⇒ 運営費交付金が財源であるため、人件費等の固定経費でない研究開発費を減額せざるを得ない。外部資金や松本油脂製薬基金が貴重な財源となっている。

○ 科研費等は採択の可否が発表されておらず、平成30年度の外部資金は流動的な部分がある。1, 2件でも採択できれば、研究開発をより早く進めることができる。

(2) 議題2「組織について」及び議題3「事務分掌規程の改正について」

事務局から資料に基づき議題2と議題3を併せて説明した後、以下のとおり意見があり、原案どおり出席者全員一致で可決した。

○ 知恵産業を推進するためや文化を基軸とした産業振興を一層推進させるために体制を強化しており、明らかなメッセージ性がある。文化庁移転に対する京都市の方向性も取り込んでいる。

以上、この議事録が正確であることを証するため、出席理事者は記名押印する。

平成30年3月23日

理事長 西本清一 ⑩

副理事長 森川佳昭 ⑩

理事 吉田多見男 ⑩

理事 横田久幸 ⑩

理事 早水 督 ⑩